

人情報すべてがこのオンラインシステムで閲覧できるようになるのは、かなりハードルが高いと思う。

在宅医療について

○旭川市医師会：在宅医療における多職種間での患者情報の共有に関しては、バイタルリンクは利用者側の費用負担はない。

○道医：在宅での看取りについては、最終的には患者家族との話し合いとなり、最期は入院を希望するご家族もいる。また、亡くなった時すぐに医師に来てほしいという家族も多い。

○道医：旭川市はもっと在宅医療の需要があると思う。札幌市のように大都市であれば、在宅医療専門のクリニックが多いが、旭川市のような中規模な都市では訪問診療のみ特化することは難しい状況にあるため在宅医師が少ない。

○旭川市医師会：旭川市は開業医が多いと思われているが、東北・北海道の中核市の中で旭川市は決して開業医が多い地域ではない。苦勞が絶えない状況である。

○旭川市医師会：旭川市医師会はA会員の平均年齢が63歳で高齢化が進んでおり、これから新たに在宅医療を行ってもらうことは難しい。今後、旭川市で新規開業する先生には在宅医療も勧めたい。

◇

最後に、北海道保健福祉部・京谷部長、旭川市医師会・滝山会長、当会・松家会長よりそれぞれ総括をいただいた。

お忙しい中、ご出席いただいた旭川市医師会役員・会員、北海道庁・旭川市の方々に感謝申し上げ報告とする。



【会場の様子】

新型コロナウイルス感染症関連情報

新型コロナウイルス感染症に関する日本医師会からの通知等は、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へー感染症情報」に掲載しています。

URL : <http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html>